小学1年生

保護者アンケート

小学校入学を経験した保護者に聞きました

◎ 入学前、どんなことに不安を感じていましたか？

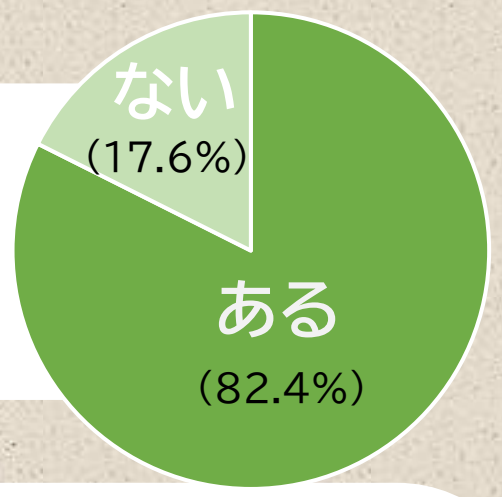
◎ 入学してみて、お子さんの様子はどうでしたか？

◎ 不安なことに、保護者としてどのように向き合いましたか？

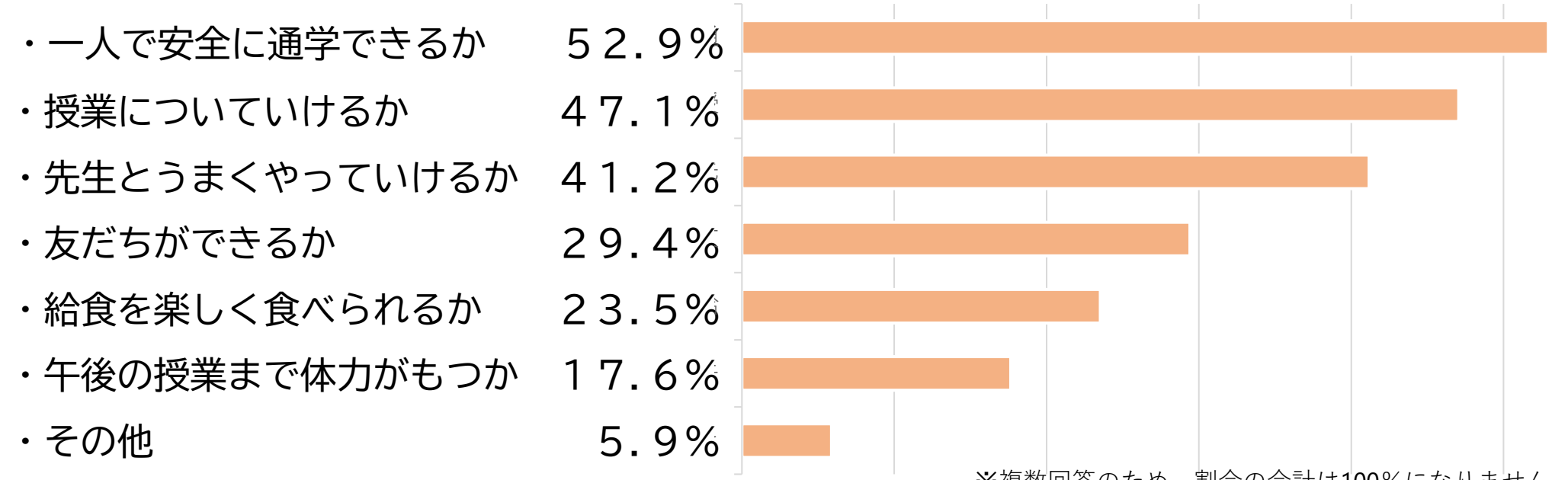
※掲載している内容は、アンケートに寄せられた保護者の体験や感想です。学校やお子さんによって状況は異なります。

１．入学前に感じた不安や課題はありますか？

・ある　82.4%　　・ない　17.6%



２．どんな不安や課題がありましたか？（１で「ある」と答えた方・複数回答）



※複数回答のため、割合の合計は100%になりません

1年生保護者の声

※掲載している回答は、アンケート内容をもとに
事務局が分類・整理しています。

一人で安全に
通学できるかな…

入学前にしたこと

・通学路を散歩した。

・入学前に通学路の確認も含めて休みの日などに自宅から学校まで歩く練習をした。

・学校まで少し距離があるため、ランドセルを背負って、1人で行けるのか不安だった。
入学入学前に実際にランドセルを背負って、学校まで一緒に歩く練習をした。
後も途中まで一緒に歩き、安全に登校できるか確認した。

・通学路を一緒に歩き、危険箇所や目印を確認しながらチェックポイントを作る。
晴れや雨など異なる天候の日に、複数回歩いて確認するとより安心。

・下校時はできるだけ方向が同じお友達と帰るように話した。

入学後の様子や対処方法

一人で安全に通学できるかな…

・勤務時間を短くして送り迎えするなど対応。

・園はバス登園でしたが、小学校からは歩いて登校に。学校までは子どもの足で徒歩20分。体力的には問題ないと思っていましたが、やはり安全面とメンタル面が気になりました。最初は学校まで送っていましたが、別れる際は「離れたくない、寂しい」と泣いていました。そんな中、休日に公園で遊んでいると近所のお兄さん、お姉さんと仲良くなり、一緒に学校に行くことになりました。親としてはホッとしました。

・GPSを持たせ、行き帰りにどの経路を通っているか、現在地はどこかを知ることで、親側の心配も軽減されています。

・集団登下校ではないので子供が通学に不安に思っている間は一緒に付き添う対応をとっています。

・一緒に登校する。

授業についていけるかな…

・ひらがなの読み書きがほとんどできなく不安だったが、入学してみたら夏休み頃にはすっかり読み書きできるようになった。

・宿題や課題は家庭で一緒にやりながらフォロー。

・授業についていけるか心配していたが、1年生の授業は遊びの延長のような楽しい内容で、廃材工作や季節を感じる活動などが多かった。イメージしていた学校の授業とは違い、子どもは「学校楽しい！」と喜んで通っている。

先生とうまくやっていけるかな…

・困ったことや気になることは連絡帳を通してのやり取りができ、都度解消してもらえた。個人面談の際には子どもの日常の様子を細かく教えてもらい安心できた。

・集団活動の決まり事を言われるまま実行できずにいるが、必要な声かけはした上でとにかく今はきげんよく学校に通えればOKと思って見守っている

・自然と友だちができた。

・「いろいろな幼稚園や保育園から来たお友達がいるから、みんな同じ気持ちだよ」と声をかけた。

・あまり質問攻めにせず、様子を見守った。

・面談時に様子を聞いたり、本人の表情や様子をよく観察した。

友だちができるかな…

給食を楽しく
食べられるかな…

入学前にしたこと

・牛乳が嫌いで飲めないので、一日一口家で飲むよう心がけたり、入学式後に担任と面談して相談した。

・時間内に食べきれるか心配だったが、園生活の中で時間についても触れてくれたので自然とできるようになった。

入学後の様子や対処方法

・給食は好き嫌いが多く心配していたが、友達と一緒に食べることで好き嫌いが減り、食べられるようになってきた。

・苦手なものを無理に食べされられることはなく、個別に無理のない範囲で量を調整してくれるので心配なかった。

・給食は残してもよいのでプレッシャーは感じずに済んだ。

午後の授業まで体力がもつかな…

・当初は寝てしまうこともあったが、自然と体力がついた。

・お昼寝がなくなることに関しては、※アフタースクールで休むことは可能か相談したが、結果的には子どもは寝ずに夕方まで頑張っていた。

※アフタースクール：放課後に子どもが過ごす居場所事業

・4月は泣いている日もあり、担任の先生から電話が来たこともありましたが、親が不安に思っていたより早く学校生活に慣れたと思います。たまたま、通学路と私の通勤の経路が重なっていて、毎日一緒に通学することができたので、それも良かったのかなと考えています。共働き世帯であれば、職場の理解を得ること、祖父母やその他の家族の協力を得ることは、準備としてしておいた方が良いと思います。

・たくさん話を聞いてあげてよく話してゆっくり解決していきました。

・できる限り子どもとの時間を作り、学校の話をたくさん聞ける環境を作った。

こんな心配もありました

こんな心配もありました

・園では長期休み明けに行き渋りがあったため、小学校入学時も不安があった。
無理な励ましやプレッシャーを避け、学校に興味を持たせる声かけをした。
登校時は楽しい雰囲気を作り、帰宅後はすぐに質問せず様子を観察し、自然なタイミングで話を聞くようにした。
困りごとがあれば連絡帳で担任の先生に相談したり、子どもが話しやすい環境づくりも意識した。

・共働き家庭のため、宿題を毎日見てあげられるか心配していたが、毎日の宿題は音読と子ども自身でできる簡単なプリントだったので対応できた。
夏休みの宿題は選択制が多く、最低限のものはすぐ終わり、意欲的に選択課題にも取り組めた。

・小学校になってから生活や学習面での違いは多々あり、子供も親も戸惑いはありましたが、先生と密にコミニュケーションをとりながら時間をかけて徐々に解決していきました。不安や不明点など思っている事は積極的に質問していった方が双方にとって良い流れになると感じました。

・入学前、事前に教務主任の先生に、我が子に関する不安や困りごとを伝えておき、入学後には担任の先生との連絡を密に取り、情報を共有してきました。